



リラックスウェア、世界展開への序章。 不朽のKAWAMATA 純シルクと伝統的な 染色技法がコラボレーション

Trigger

取り組みの
キッカケ

ファッションアイテムとしての浴衣など、和装の魅力を見直す機運が起きています。しかし、マーケット全体では縮小傾向が否めません。これまでのコアビジネスを伸ばす一方、洋装品を開発して幅広い顧客層を取り込むことが当社の経営課題に挙げられます。

福島県には川俣シルクという、世界に冠たる逸品があります。光沢・肌ざわり・さまざまな健康効果など魅力に富む素材を活かして新たな需要を生み出せば、地場産業としての持続可能性も高まると考えました。絹

の長襦袢をモチーフに伝統的な染色技術、さらに斬新なデザインが融合するシルク製リラックスウェアの試作開発。さまざまなストーリー性を帯びる新規事業、そのポテンシャルを探る第一歩が記されたのです。



Plan & Action

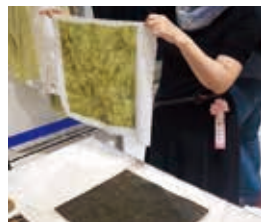
計画と
実施状況

極上シルク100%を採用。 デッサン画から、量産シミュレーションまで

試作品の開発工程で初めに手掛けたのが、服飾デザイナーによるデッサン画です。次いで染色シルク生地・試作サンプル、それぞれの発注仕様書を作成しました。その後は墨流し染色、マーブルプリントを施した染色シルク生地に基づいて量産までの実施仕様書、パターン(型紙)などを整えた後、縫製・仕上げへと進み、検品・評価に至っています。

新しい価値を創造するプロジェクトで最も重視したのは、シルク生地の選定です。国産、しかも福島県・川俣産100%の純シルク(サテン)を優先、パーティー

ドレス仕様にも対応できる最高級品を採用しました。また墨流し染色も、マーブルプリントも国内在住の卓越した技能者が担い、希少なマンパワーが醸し出すオリジナルな表現世界が魅力的です。



織物・衣類・身の回り品小売業

株式会社まる善

Company Profile

☎ 0246-58-0037 ☎ 0246-58-0037
〒971-8144 福島県いわき市鹿島町久保1-12-7
🌐 <http://www.kimono-maruzen.com>
✉ orzatakako@yahoo.co.jp

Company outline

いわき市の南北を結ぶ鹿島街道から、ほど近い本店。赤地に白く「着物のまる善」と記された看板が目印です。日本の伝統美とともに、和のトレンドに出会える専門店として多くの皆様に御愛顧いただいています。呉服や小物類の販売に加え、着付け教室を催したり、四季折々の展示会で新作・お値打ち品を披露したりするなどイベントも盛りだくさん。クリーニング・リフォームといった御用命にも応えます。都内渋谷区・松涛にある「着物サロン ORZA」が東京店です。



代表取締役
河野 貴子



Outcome 得られた 成果

地域の伝統産業とWIN-WIN時代性ともマッチング、 ストーリー性を帯びた商品へ

染色シルク生地は延べ6種類です。マーブルプリントが、シルバーピーコック柄・ブラックピーコック柄・花恋マーブル柄。墨流し染色が、ミントグリーン柄・ブルーベージュ柄・ピンクブルー柄。これらを基本的なデザインパターンと



設定、Vネックワンピース、レイヤードワンピースなど試作品を製作しました。

ファッションや服飾が専門の教育機関・クリエイター・メディアの視点でも高評価が寄せられています。国産シルクの特性を活かして至高の染色技法、若手デザイナーの感性を融合させようというコンセプト。あらためて身近な産品に着目し、絹産業が再興する一助にもなり得る地域活性化への視点。こうした時代とのマッチング要素、ストーリー性を確信して商品化・マーケティングを視野に入れています。

Next plan

今後の
活動計画

めざすなら国内外のセレブ市場。 ブランド始動へ向け、事業モデルを組み立てる

オリジナルブランドの本格的な始動に先立ち、モニター結果の分析とフィードバックを進めます。試作品の評価を踏まえ、量産に於けるコスト削減の見通しが立ちました。シルク生地の調達、染色、実施仕様書・パターン・マーキング仕様書の作成、そして縫製のトータル原価が試作時の1/3~1/4に抑えられそうです。

訪日観光客によるインバウンド需要、クールジャパンへ対する関心の高まりを受け、グローバルに通用するデザイン性と機能美を持つシルク製品を指向しています。国内外のセレブ市場を対象に、リラックスウェアに加えてパーティードレス・イブニングドレスも有望な商材です。と同時に統括ディレクター、デザイナー、

縫製スタッフなど生産体制を支える人的リソースの確保・育成を図ります。

